

2003年ベガルタボランティア活動報告

ベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク

「3つの活動テーマ」

ベガルタのゲームの運営をサポートするボランティア、2003年は制度ができて5年目の年、ボランティアの親睦とレベルアップをめざして2000年に有志でスタートした「ベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク」(以下VVN)にとって大きな飛躍の年となりました。ご協力いただいた多くの方々に感謝をこめて活動の一端を報告します。

VVNの
2003年
活動テーマ

1. 研修の年間実施
2. マナーアップへの取組
3. ネットワークの拡大

1. 研修の年間実施

私たちボランティアの活動はおもてにみえるスタジアムでの活動にとどまりません。それはシーズン前から始まりました。毎回満員のスタジアムがさまざまな意味で「快適で安全な場所となり気持ちよく観戦」していただくため、少しでも自分たち自身のレベルアップができれば、そう考えて年間継続的に実施したのが、「VVN研修会」でした。ベガルタのボランティアに限らず研修の内容を事前にチームの公式ホームページや、V-PRESSで告知したことで延べ400名以上の方々に参加いただきました。研修の内容は報告書やボランティアマニュアルにまとめて、今後も活用できる体制をめざしています。

2003年VVN研修テーマ 一例

- ・ 緊急医療 泉消防署
- ・ 2003年のチーム体制 ハンドレッド
- ・ 選手からコーチへ ハンドレッド
- ・ ごみ減量取組について MELON
- ・ 市民後援会の活動について 市民後援会

研修内容としては上記のほか、お客様を迎えるために必要な知識を学ぶためのもの(手話・車椅子の知識・接客など)、チームにかかわる基礎知識を習得するためのもの(Jリーグとベガルタ・ベガルタの歴史など)、スポーツボランティアに関する知識を学ぶためのもの(グランディボランティアの活動について・新潟、山形ボランティアの活動など)など多岐にわたりました。この企画は2004年以降も継続いたします。お楽しみに。



2. マナーアップへの取組

2001年の後半、スタジアムが満員状態が続くにつれて深刻化してきた「ごみ問題」、スタジアムの観客に占めるファミリーウェイトが極めて高いこともふまえ、2002年のオフシーズンに「みやぎ環境とくらしネットワーク」(通称MELON)と連携、2003年は年間を通じて「ごみ減量化」に取り組ました。

チームや行政の協力、サポーターのみなさんの協力による成果は、シーズン終了後Jリーグより依頼があってJリーグのホームタウン会議(J1・J2チームフロント参加)の場で発表することにつながりました。仙台でスタートしたスタジアムのごみ減量の取組は今後確実に全国のチームに広がります。今シーズンの協力に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のごみの減量化と分別にご協力願います。



3. ネットワークの拡大

2001年からVVNが毎年参加している「全国ホームタウンサミット」、それは全国のJリーグのチーム関係者(ボランティア・フロント・行政・サポート組織など)が一堂に集まり、情報の交換をはじめ親睦をはかるイベントです。過去のサミットでたくさんの交流を作ってきましたが、そのサミットが2003年9月、私たちの住むまち仙台で開催されました。VVNは4つの分科会の中のひとつ「ボランティアとJリーグ」の運営を行うとともに、関連イベントとして「ボランティア活動事例発表会」を企画し、全国14チームの関係者のみなさんとネットワークを作ることが出来ました。チームの環境は違っても、ボランティアの活動にはおどろくほど共通性がみられます、その意味では絶えず情報交換を行うことが、より楽しいホームタウン作りや、快適なスタジアム作りにつながるものと思います。全国各地に地域とチームの間で活動しているボランティア仲間がいます。みなさんもそんなネットワークに参加しませんか。



(文責 泉田 和雄)